

公共施設マネジメント意見交換会の概要（7月8日実施分）

1. 開催日時・会場

<金子地区>

日 時 平成30年7月8日（日） 午後2時00分から午後4時00分

場 所 金子公民館 1階集会室

<市内全域>

日 時 平成30年7月8日（日） 午後6時00分から午後8時15分

場 所 産業文化センター 2階 第2集会室A・B

2. 内容

- ①開会あいさつ
- ②公共施設マネジメント事業計画についての説明
- ③意見交換会
- ④閉会

3. 参加者数

<金子地区>

参加者 8名

<市内全域>

参加者 91名

※ 質疑応答の概要は別紙のとおりです

※ 応答における表記の例

（公マネ）：公共施設マネジメント推進課

（政策）：企画課政策推進室

公共施設マネジメント意見交換会 質疑応答一覧

<金子地区>

No.	発言要旨	応答
1	<p>・保育所の築年数は、金子第一保育所は50年、金子第二保育所は48年である。統廃合の計画は早くても10年かかる。そうすると、子どもの状況も変わってくるのではないか。また、立地として金子第二保育所は低い土地にあり、金子第一保育所は山の方の高い土地にある。災害の面を考えると、地区の中央、つまり金子公民館のあたりに移転するのが適しているという日頃から思っている。</p>	<p>(公マネ) 保育所の問題は、昨年度行われた地区懇談会でも老朽化による早めの対応を求められた。保育所はこども支援部所管であり、所管課と調整し検討をしている。第1期事業計画では、保育所の問題は重要と考えている。金子第一保育所と金子第二保育所をどちらかに統合すると今の位置では難しいのではないかと、中央に移転できないかという意見が多くでた。学校の周辺、駅の周辺、公民館の周辺という意見があり、現在検討している。どのようになるかとすぐに説明はできないが意見として参考にさせていただく。</p>
2	<p>・公共施設マネジメント事業計画は30年間であるが、期間が長すぎる。統廃合や複合化による公共施設のスリム化は以前から叫ばれており、今更の問題ではない。維持管理・人件費等の削減といった計画は多種多様になった。30年間で進めていくというのは悠長すぎると思う。学校の空き教室を活用して学童保育室といった早急にできる問題をまず進めてほしい。スピーディーに進める施策は普段のなかでの行政改革でできるのではないかと思う。それに対する総務部長の見解を聞きたい。また、学校の合併問題として、狭山市では随分進んでいるように思う。市民に堂々と説明できる行政マンとしてやってもらいたい。</p>	<p>(部長) 公共施設は地域に根差している施設であり、その場その場で対応していくのは難しい。入間市全体でどう施設を配置していくのかしっかり示すことは基礎づくりとして必要である。そして、その基礎づくりとして情報提供をすることは大切だと考えている。急がなくてはならない施設は最初10年間の第1期事業計画で対応し、築年数30年ほど経った施設は20年の第2期事業計画、より新しい施設は30年の第3期事業計画で対応を行う。施設の老朽化対策が一番重要であり、あわせて小・中学校の生徒の減少、将来の税収減少も考慮しなければならない。将来にわたって維持できる施設はどれくらいか、市民と相談することが大切。スピード感を持って進めていきたい。教育委員会としても学校や教育上の課題をどう考えていくのか検討しているので、一緒に考えていく。</p>
3	<p>・現在、根岸地区は金子地区であるものの、保育所・小学校・中学校と東金子の方に全て属している。東金子小学校の築年数50年、新久小学校38年であり、施設としては新久小学校のほうが新しく、その場合はどちらに統合するのか。根岸地区は金子地区と東金子地区のどちらになるのか。</p>	<p>(公マネ) どの学校に統廃合をするのか、現在意見をいただいている段階である。施設の新しい新久小学校に統合する案、歴史のある東金子小学校に統合する案、また小・中学校一貫教育をしやすくするために中学校の近くに持っていくことはできないのかといった意見があった。いずれもどの案が良いのか、実現可能なのか検討している段階であり、方向性がでないと学区は決められないのではないかと思う。新久小学校は築30年以上経って、東金子地区との関わりも強くなり、残りたいという方もいた。ただし、これは教育委員会とも話し合いになる。1、2年で移動するというにはならないため、長期的にうまく移行できるように計画を作っていくなくてはいけない。</p>

4	<p>・シート 101 の計画期間について第 1 期はおおむね確定とあるがどこまで確定なのか。金子第一保育所と第二保育所は統廃合をして、人口減少を想定するのではなく、どのくらい幼児を確保していくのかというような前向きな施策の検討が必要なのではないか。それによって小・中学校の児童数も増えるのではないか。また、公共交通で金子地区が利用率最低と聞いている。保育所での送迎を含めた、公共交通をトータルで考えれば公共施設マネジメントとあわせて有効的に使える。</p>	<p>(公マネ) スケジュールについて、原案は意見交換会のこれまでの意見と庁内調整での意見を踏まえて、まとめていく。最初の 10 年間の計画は概ね確定したものとするを考えている。具体的な施設をあげて近々の課題として改修・建替え計画をお示したい。藤沢でも第一保育所と第二保育所があるが、施設も新しく最初の 10 年間の計画で決めるわけではない。保育所は園児数で単純に統廃合するわけではない。定員等は考えていきたい。余裕のある保育所もあるが、待機児童もいる。待機児童は主に低年齢児であることから、低年齢児の受け入れ、ニーズを考えていかななくてはいけない。公共交通のていワゴンは現在状況を見ている。どうすれば利用率があがるか全体の調整課題としている。</p> <p>(政策) 人口減少対策のうち、これまでは福祉部が子育てに関する施策を担当してきたが、平成 29 年度に組織見直しでこども支援部をつくった。それに合わせてまち・ひと・しごと創生総合戦略という人口減少対策の計画を平成 27～31 年度で進めている。その中では 68 の事業の実施をしているが、子育てに特化したものは産前産後ケア、ひとり親家庭の学習支援、こども食堂、平成 31 年度から親と同居・近居をすることに対する補助・支援、どう発信していくかでシティセールス、入間市っていいなって思ってもらうことと外に発信してもらって呼込むといった人口減少対策をしている。</p>
5	<p>・公共施設マネジメントはまったなしと思った。意見交換会をかさねながら意見を取り入れてスピーディーにしてほしい。人口減少としてこの町に、子育てしやすい環境や教育してくれる環境がないとこない。もっと市街化調整区域の線引きを市街地にしてしまえばいいという意見に同意する。金子地区の大抵の問題は、根岸にあると思う。根岸地区は新久小学校に通っているが、東金子小学校に統合すると通学距離が伸びる。保育所は小学校の近くにつくったほうがやりやすい。金子小学校に学童保育室、図書館分館等をいれてほしい。放課後子ども教室はセンターに行くのか小学校に行くのか確認したい。</p> <p>・学校への複合化について、一番懸念しているのがセキュリティーの問題である。複合化により便利になるのは良いが、安</p>	<p>(公マネ) 放課後こども教室は未だ決まっていない。小学校に統合する形になると事務局は考えている。</p> <p>(公マネ) 事務局も課題としている問題もあり、意見は参考とさせていただく。セキュリティーの問題は重要であると思っている。安全性確保を第一に考えていきたい。</p>

	<p>心・安全を守れないと難しい。金子中学校は適正規模を下回っているけれど、各学年2クラスを下回らないところまで、教育のできる環境としてあるべきだと思う。</p>	<p>(政策) 市街化調整区域の区域変更は市だけでは決められず、最終的に県が決定者である。入間市は圏央道ゾーンとされており、どうしても市街化区域を増やすのは難しい。唯一伸ばせても工業系となり、住居系は難しい。市民の意見を聞いてまちづくりを進めていきたい。</p>
--	---	---

<市内全域>

1	<p>・東金子地区の防災マップ、第7区抜けている。牛沢墓地が第7区になると思う。</p>	<p>(公マネ) 確認してから、必要に応じて訂正させていただきます。</p>
2	<p>・資料がなぜ西暦で統一して書かれていないのか。平成35年は存在しないのに記載されていて、直すべきである。また、入間市をどういう町にしたいのかというビジョン、若い人をどのように呼ぶのかそういうビジョンがあって、こういう話になるのではないかと。最近話題となっているが、水道の民営化について入間市ではどのように思っているのか。</p>	<p>(公マネ) 今後は主に西暦で表記をするようにして、平成という表記はなるべく控えていただく。 (政策) 入間市では「第6次総合計画」をたて、10年間のまちづくり目標を「みんなで作る住みやすさを実感できるまち いるま」としている。人口減少対策としては「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の平成27～31年度まで5か年の目標を「元気なこどもが育つまち」という目標を掲げている。30年後のビジョンでは、人口減少対策でもあげているように人口が9万人を割り込んでしまう。それをなんとか12万人に抑えて、住みやすさを実感できるように若い人に選択してもらえるように68の事業の展開をして、特に子育てに力を入れている。水道の民営化は現時点では考えていない。</p>
3	<p>・行政として公共施設を統廃合すると、防災面で避難場所が少なくなるということ。最近では災害も多くなっている。飯能市で110mmの雨が降ったとき、入間川が氾濫したり、堤防くずれたりと被害がでている。そういうことを考えないと市民の安心・安全とかけ離れてしまう。もしかしたら川を隔てて親と子が離れ離れになってしまうかもしれない。厚さ30センチのコンクリート壁も水害で崩れたのを目のあたりにしたので、そういう安全面も考えてほしいと思うがどう考えているか。</p> <p>・公共施設の余った施設を違うものにするということも考えられる。ちゃんとやっていくというものになっているのか。</p>	<p>(公マネ) 公共施設の統廃合に伴う避難場所の減少は、防災計画と整合を図りながら安全を考え進めていく。統廃合をした際の、施設の活用も合わせて考えていく。</p> <p>(公マネ) 現在の公共施設も水害等を考えると今の配置の見直しを考えなくてはならないということもある。公共施設の配置はどのようにしたほうがいいのか。2つの施設を現在の施設の1つにどちらかに統合するのか、また地域の中心にして統合してほしいという地域の方からの意見も頂いた。</p>
4	<p>・資料が分かりやすく、イメージがわく。大分、説明会をしたのだから、ある程度方向性は付けてもらいたい。西武地区は入間川を挟んで野田地区と仏子地区で地理的条件が違う。仏子地区は地理的にいろいろな条件がある。歴史があるということなので学校を残したいという気持ちはわかるけれど、人がいなくてはどうしようもない。また、統合することによって違う価値もでてくる。クラス数が変われば教育面も変わっ</p>	<p>(公マネ) 意見として承らせていただく。</p>

	てくると思う。子育て支援は継続していただいて、良き入間市というキャッチフレーズとなるような施策を長期的に考えていただきたい。	
5	<p>・高倉5丁目に3年前に引っ越してきた。統廃合計画にがっかりしている。たたき台は人口減少に拍車をかけてしまう。ゆりかごから墓場までという言葉もあるようだが、入間市で恋愛して、入間市で結婚して、入間市で子供を産んで、年とって、孫をつくって、またその子たちも入間市に住んでいられる。それぐらい魅力的な入間市をつくるようなそういうイメージが公共施設マネジメントから見えてこない。高倉に引っ越してきて、失敗したと思った。高倉公民館もなくなり、小学校は廃校となり、寂しくなるところに引っ越してきたと思った。引っ越してきて霞川の氾濫が2度起きた。避難場所は高倉公民館である。また、高倉小学校も廃校になり黒須小学校へ通うことに不満を感じる。黒須小学校まで通学することが現実的に可能なのかを確かめるために、実際に7人で体験してみた。高倉小学校から黒須小学校までは大人の足で45分かかる。距離は2.5kmあり遠すぎる。小学校低学年の足では1時間は超える。小学低学年児の登校は無理。入間市駅と仏子駅までとほぼ同じ距離である。入間市駅から稲荷山公園駅だと一往復半。85歳の方は1.5kmでリタイアした。孫になにかあっても迎えにいけない。山を越え谷を下り、踏切、信号を超えて通学することは現実的ではない。通学時の課題をどのように考えているのか。また統廃合を行うことでPTA組織も変わり、保護者も混乱している。不安以外の声を聴かない。私としては統廃合の問題は撤回してほしい。もし統廃合を行うのであれば、徹底した安全対策と、無理のない距離になるように相当時間をかけて決めてほしい。充実したサービス、ハコモノが大切ではないか。公共施設マネジメントは人口減少に拍車をかける案だと思うがどう思うか。資料100シートに「たたき台」とあるがスケジュールもたたき台なのか。市公式ホームページには、意見交換会は今日で終わりとなっていたが、まだあるのか。まだ意見交換会をして、もっと人を呼んで、集約していかないといけない。先ほど、68の事業を展開してると言っていたが、資料で見せてほしい。</p>	<p>(市長) その気持ちはわかる。子育て・教育・老後も入間市に住めるという施策があると魅力的だと思う。人口は減らさないという思いはあるが、日本全体の人口が減っている。出生率2.07であれば人口は維持できる数値であるが、日本全体で1.44、埼玉県で1.36、入間市で1.19である。それを施策で2.07に引き上げられたとしても人口減少で既に女性の数が減っているから、間違いなく人口は減る。あくまで、この資料はたたき台である。公共施設は全部あったほうが良いというのはわかるが、全部維持したら入間市が維持できるかというとなかなか難しい。高齢化に伴い、高齢者支援や障がい者支援等の福祉面での補助の充実も高めている。入間市で予算は全体で415億円で、その中の民生費(福祉、医療等)は176億円となり、43%使っている。その民生費を削減すれば、公共施設は維持できるが、医療費等はどうするのかと考えると、我慢することは我慢しなくてはいけない。先送りすることはできるが、ここでしないと将来の市民に申し訳なく、今提案させていただいている。私立の保育所は建替えは終わっている。公立の保育所は全て税金で補わなければならない。現在、低年齢児の受け入れができていないため、統廃合をするけれど低年齢児の受け入れをし、全体の定数は保つことを考えている。将来の市民のことも考えて施策をつくらないといけない。</p> <p>(公マネ) スケジュールについて、この考え方でいきたい。この計画は昨年度策定されるはずだったが、市議会とも調整して1年延期させていただいている。この事業計画自体、30年間としており、個別施設については各地区市民の意見を頂きながら整備計画を作っていくための第一段階と考えてほしい。</p>
6	・資料をつくっていただいたことに感謝し	

	ている。	
7	<ul style="list-style-type: none"> ・建築基準法の新耐震基準に適合していない施設は現在あるのか。 ・庁舎と市民会館・中央公民館は法令違反になっており、早急に取り組むべきものか。 ・小学校と図書館等との複合化は時代に逆行していないか。小学校は第三者をいれないように全国的に取り組んでいるのに、複合化をすると不特定多数の人が入れるようになってしまう。反対意見を聞いていると30年後を見据えた計画であり、現在築30年を経過した施設が殆どであるが、現在築30年の施設の30年後を考えるのは風呂敷を広げすぎではないか。もっと近々の市民会館や庁舎をすぐにでもやらなければいけないのに、学校等は耐震化が済み、統廃合等をすぐにやらなければいけない状態でもない。危機感を煽っているように感じる。計画は10年くらいに短くするほうがいいのか。 ・建てるだけでなく運営についても考えてほしい。 	<p>(公マネ) 学校については、児童・生徒の安心・安全を最優先課題として取り組んできた。平成27年度に学校の耐震化は済んでいる。ここ2年で、市民活動センター、市民体育館が耐震化が終了した。市民の方が使用する公共施設としては現在、庁舎と市民会館・中央公民館を残している。</p> <p>(公マネ) そのようになっている。</p> <p>(公マネ) 30年間を考えるのは難しいのは確かである。30年間の計画というのは地区の全体の大きな枠組みであって、そこから個別の施設の計画になる。実際には30年間の計画に合わせて10年間の計画をつくっていく。早急に取り組まなくてはいけない施設は10年間の計画で示していきたい。小学校については、複合化するにしてもセキュリティーの問題は重要な課題であると思っている。しかし、これについては文部科学省でも複合化について考えており、事例でも複合化による教育効果もある。改めて今後、教育水準の向上について考えていきたい。</p> <p>(公マネ) 今後、運営についても考えていきたい。</p>
8	<ul style="list-style-type: none"> ・高倉地区では新しい戸建住宅ができて若い人が流入している。この間、高倉公民館であった説明会でも学校がなくなってしまうなら引っ越すという意見が出ていた。駅から近くて、人口が増える可能性のある地域だと思う。この資料はたたき台ということで高倉小学校をなくすのは見直していただきたい。また、入間市の保育所に待機児童がいなければ来ようと思う人もいる。人口が減るから無くすのではなく、定員に余裕があるから来ようというふうに魅力にうつる。このように現在ある施設を利用して人を呼びこむような施策に変えたほうがいいのか。 	<p>(公マネ) 高倉小学校、黒須小学校を統廃合するというので、これまで意見をいただいていた。そのなかで様々な意見をいただいていた。現在、子育て世代が増えてきたということで、我々もそのような数値を見ていきたいと思う。シート37を見ていただくと児童数の推移である。平成35年度は推計の数値となっており、地区住民の5年後はどうなるかといった数値である。これらの数値を見ながら統廃合の時期やどのようにするか考えていきたい。</p>
9	<ul style="list-style-type: none"> ・徒歩圏の公民館が減るとこれまで公民館活動をしていた高齢者の引きこもりを誘発し、介護や支援が必要になってくる。それは介護保険や健康保険に負担がかかる。公民館の機能が損なわれるということに危機感を抱いている。また、来年2月にパブリックコメントを行い3月に事業計画の 	<p>(公マネ) この計画策定は既に1年間の延期をさせていただいている。早急な対策が必要であるため、早急な計画策定をしてほしいという意見もある。2月にパブリックコメントをして、3月末に計画策定をするのは大変だと承知している。事業計画は30年間の大きな枠組みであり、個別の具体的な施設計画はこの</p>

	<p>策定をするというスケジュールでは、パブリックコメントの意見を反映する時間がないのではないか。パブリックコメントをして反映する期間が数か月は必要ではないか。</p> <p>・この意見交換会の意見を反映するというのなら、パブリックコメントも反映させないとおかしい。</p>	<p>枠組みに基づいて、具体的な検討・意見を聞くということで考えているため、事業計画についてはこの期間でまとめていきたい。</p> <p>(公マネ) 努力をさせていただく。パブリックコメントで出された意見は十分に検討させていただいて、反映させていただく。</p>
10	<p>・平成 25, 26 年に中央公論にて、40 年後に日本の 1000 自治体以上が破たんする予想がでていた。夕張市が破たんしたときは他の自治体の協力もあり、助かった。しかし、日本の 1000 自治体が破たんしたらどうなるのか。いろいろなものを減らしていくのはいいが、一番の経費となる人件費はどうなるのか。30 年後の税収は、現在の税収の 1/4 減る。そのときには、年金はあるのか。いろいろなものを減らした後の人の移り変わりは何もでていない。30 年後に向けて、人件費の見直しをはかることが重要だ。現在、東秩父村では破たんの話が出ている。30 年後までに、公共施設の見直しをすればいいという呑気な話ではない。</p>	<p>(部長) 人口が減ると人件費も少なくなる。人件費の抑制は当然進んでいく。施設の統廃合は日本としての人口減少という大きな課題であり、就労人口が少ないことに対して国のほうで制度改革が進められている。公共施設マネジメントについては国から地方自治体に対して取組の着手を依頼された。1 自治体として今の段階から課題を提示して、この取組を進めている。</p>
11	<p>・早急に手を打たないといけない市役所・市民会館・中央公民館の計画は 10 年間ということで、公共施設マネジメントは 30 年間かけるものであり、公共施設マネジメントについては意見交換会を続けたいのか。転入してもらおうことを考えて、計画をつくってほしい。そうするとファミリー世帯が増えると思う。</p>	<p>(公マネ) 個別の施設計画については、地域ごとに意見を聞きたい。地域ごとに個別施設計画策定のための協議会の設置をしていく必要があると思う。</p> <p>(政策) 転入してくる施策について、市が進めている施策も検証しながら進めている。これらは市の職員だけで進めているわけではなく、有識者の意見も聞きながら進めている。転入者を増やしていける取組をしていきたい。施設について選択と集中を提案しているが、魅力のある施設をつくっていきたい。</p>